

2026年3月期 第1四半期決算説明資料

(2025.04.01~2025.06.30)

JBCCホールディングス株式会社
証券コード:9889(東証プライム市場 情報・通信業)

2025年7月30日

01. 業績概況 P.03

- ・ 第1四半期 業績概況
- ・ 通期業績予想に対する進捗率
- ・ 四半期別業績推移

02. 通期業績予想 P.07

- ・ 2026年3月期 通期業績予想

03. 株主還元 P.09

- ・ 1株当たり配当金の推移
- ・ 配当金総額と自己株式取得の推移

04. 事業セグメント別 P.12

- ・ システム開発(SI)
- ・ サービス
- ・ システム／製品開発製造
- ・ 四半期別業績推移

05. 注力事業 P.18

- ・ クラウド – 四半期別業績推移
- ・ セキュリティ – 四半期別業績推移
- ・ 超高速開発 – 四半期別業績推移

06. スtockビジネス割合 P.22

- ・ 売上高に占めるStockビジネス割合

Appendix P.24

- ・ 会社概要
- ・ ニュースリリース
- ・ 注力事業「クラウド」 - 特長と強み*
- ・ 注力事業「セキュリティ」 - 特長と強み*
- ・ 注力事業「超高速開発」 - 特長と強み*
- ・ 新たな人材戦略の策定と推進*
- ・ 人的資本経営品質2024 シルバー賞を受賞*
- ・ 企業価値向上に向けての取り組み*
- ・ 中期経営計画「CHALLENGE 2026」*

*:再掲

01. 業績概況

01. 業績概況 | 第1四半期 業績概況

- 中期経営計画「CHALLENGE 2026」2年目、1Qは**好調な滑り出し**
- 注力事業である**クラウド・セキュリティ・超高速開発**が**力強く成長**し、業績を牽引

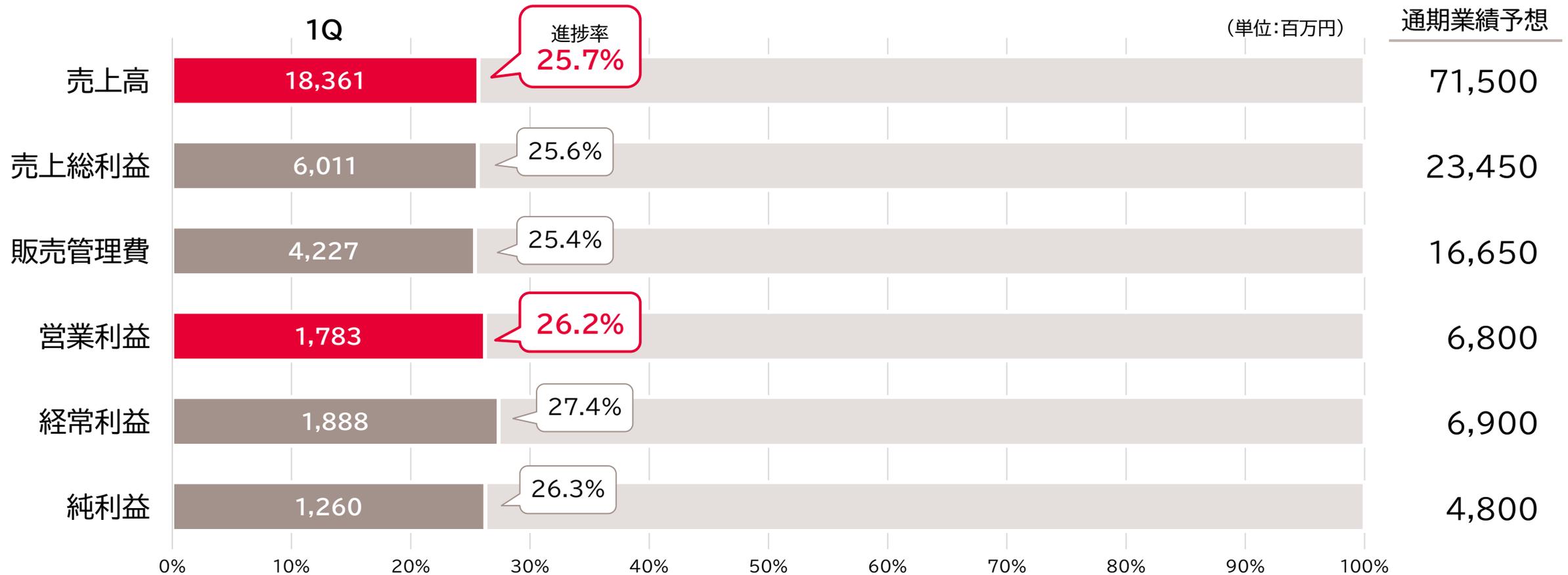
(百万円)

	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	前年同期比	2026年3月期 予想	予想に対する 進捗率
売上高	18,118	18,361	+1.3%	71,500	25.7%
営業利益	1,536 (8.5%)	1,783 (9.7%)	+16.1% (+1.2pts)	6,800	26.2%
経常利益	1,658 (9.2%)	1,888 (10.3%)	+13.9% (+1.1pts)	6,900	27.4%
親会社に帰属する 四半期純利益	1,120 (6.2%)	1,260 (6.9%)	+12.6% (+0.7pts)	4,800	26.3%

()内は利益率を示します。

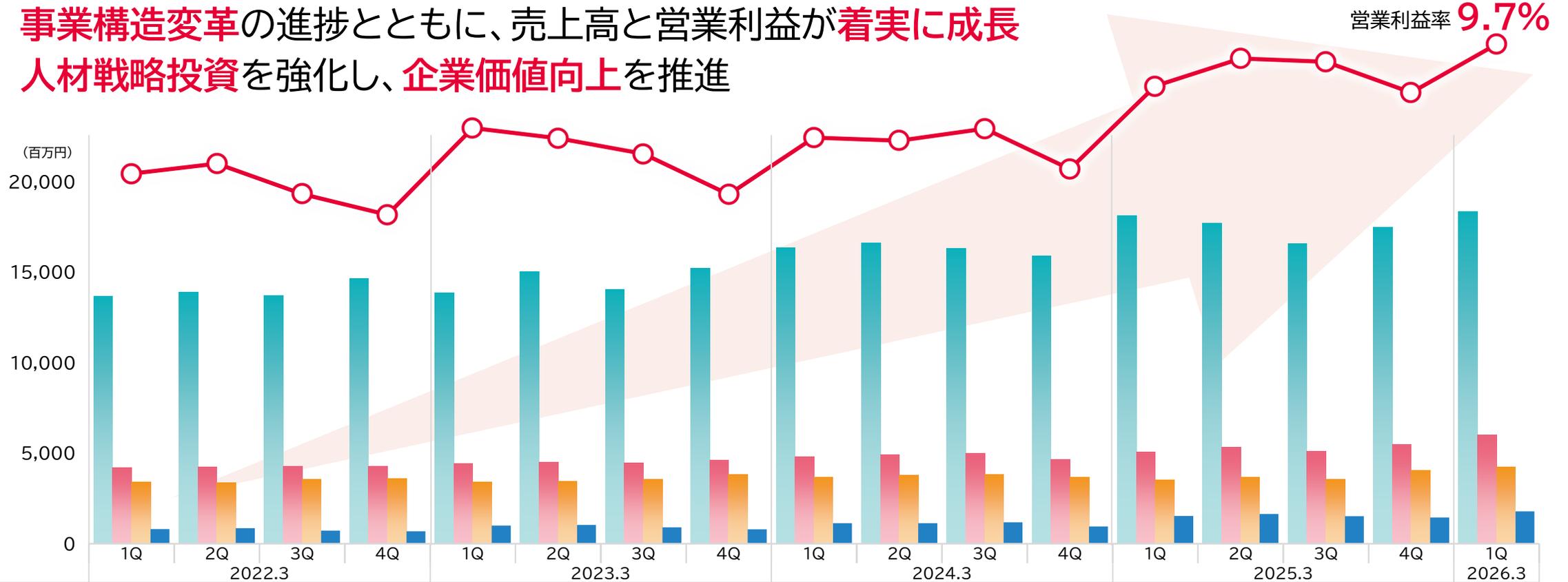
01. 業績概況 | 通期業績予想に対する進捗率

- 売上・利益ともに、**計画通りに進捗**
- 2Q以降も引き続き順調な進捗を維持し、**上期は業績予想をやや上回る着地**を見込む



01. 業績概況 | 四半期別業績推移

- **事業構造変革**の進捗とともに、売上高と営業利益が**着実に成長**
- **人材戦略投資**を強化し、**企業価値向上**を推進



	2022.3				2023.3				2024.3				2025.3				2026.3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q												
売上高	13,687	13,883	13,710	14,653	13,874	15,015	14,045	15,209	16,359	16,611	16,309	15,913	18,118	17,703	16,571	17,475	18,361
売上総利益	4,199	4,228	4,293	4,284	4,415	4,497	4,475	4,622	4,816	4,917	5,002	4,645	5,059	5,318	5,096	5,497	6,011
販管費	3,391	3,367	3,565	3,596	3,409	3,454	3,564	3,818	3,676	3,774	3,822	3,683	3,522	3,672	3,572	4,049	4,227
営業利益	807	861	727	687	1,005	1,043	911	804	1,139	1,142	1,179	961	1,536	1,645	1,524	1,448	1,783
売上総利益率	30.7%	30.5%	31.3%	29.2%	31.8%	30.0%	31.9%	30.4%	29.4%	29.6%	30.7%	29.2%	27.9%	30.0%	30.8%	31.5%	32.7%
販管費率	24.8%	24.3%	26.0%	24.5%	24.6%	23.0%	25.4%	25.1%	22.5%	22.7%	23.4%	23.1%	19.4%	20.7%	21.6%	23.2%	23.0%
営業利益率	5.9%	6.2%	5.3%	4.7%	7.2%	6.9%	6.5%	5.3%	7.0%	6.9%	7.2%	6.0%	8.5%	9.3%	9.2%	8.3%	9.7%

HARMONIZE 2023

CHALLENGE 2026

02. 通期業績予想

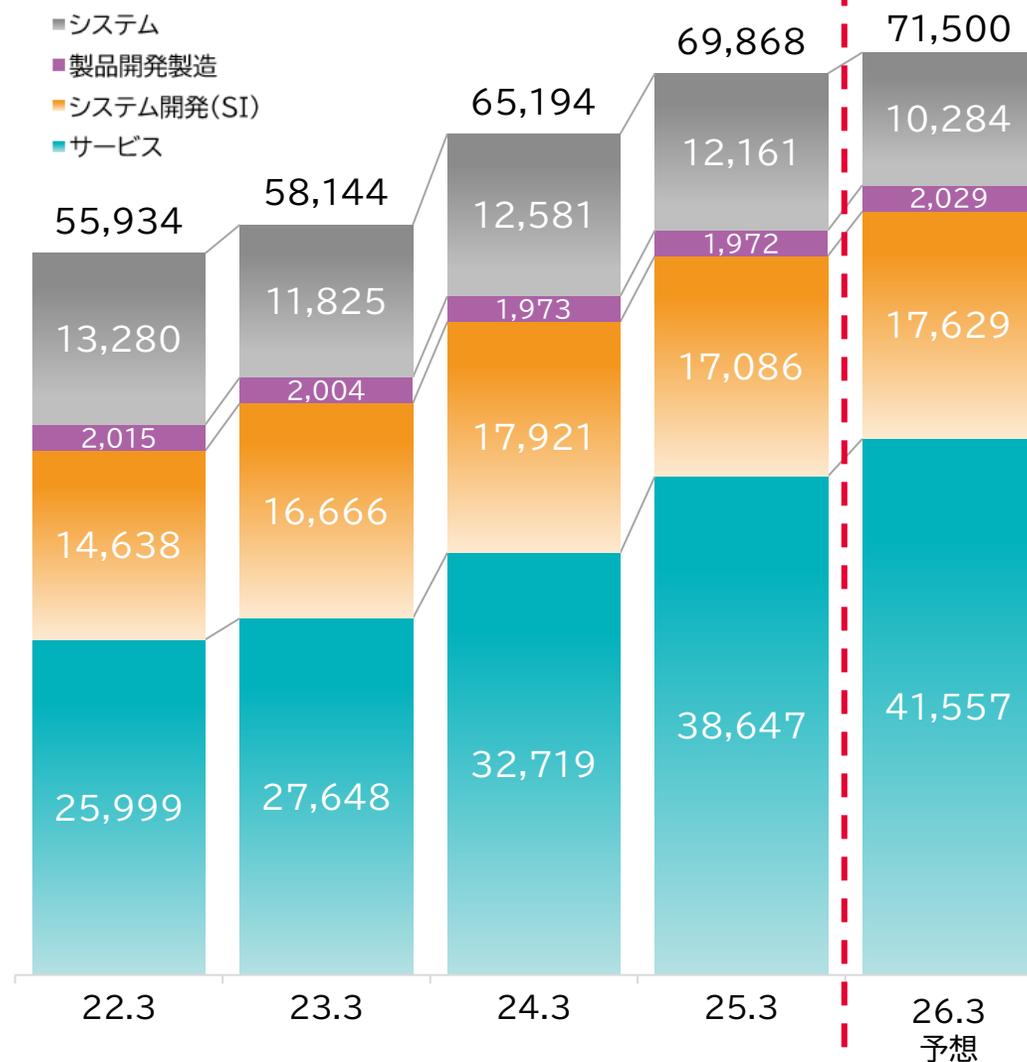
ハイライト

4期連続増収増益予想

	26.3予想	前期比
売上高	71,500	+2.3%
営業利益	6,800 (9.5%)	+10.5% (+0.7pts)
経常利益	6,900 (9.7%)	+9.3% (+0.7pts)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,800 (6.7%)	+4.3% (+0.1pts)

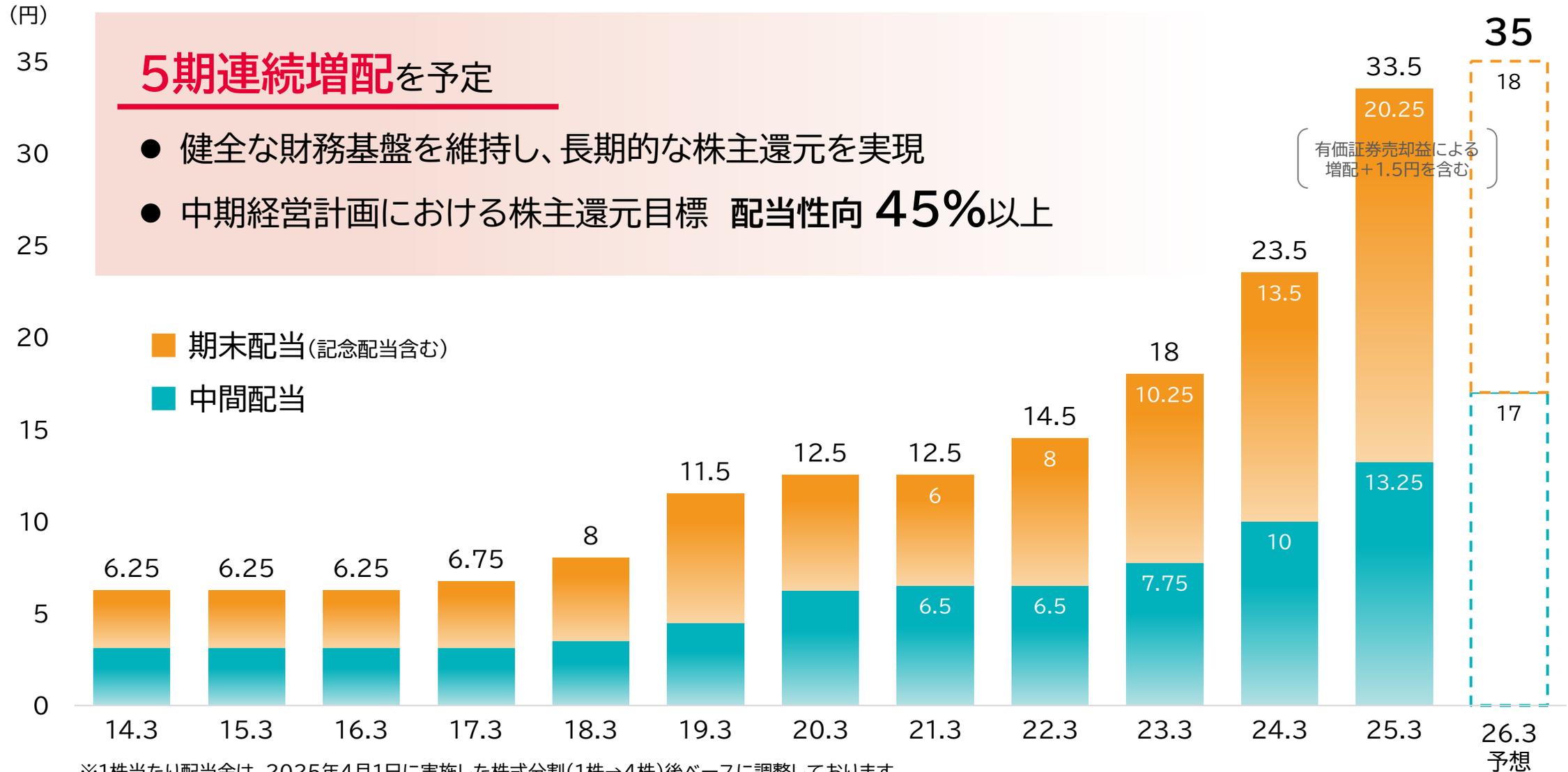
- サービス分野は、「クラウド」「セキュリティ」の高付加価値サービスが好調
- システム開発(SI)分野は、「超高速開発」の業績が正常化し復調
- 人材戦略投資を強化し、企業価値向上を推進

事業セグメント別売上高予想 (百万円)

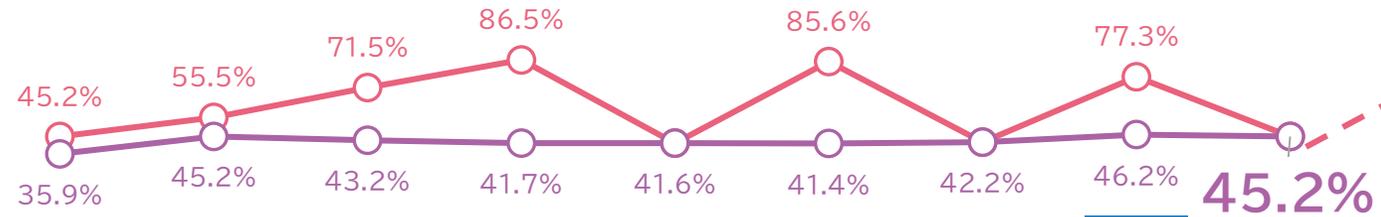
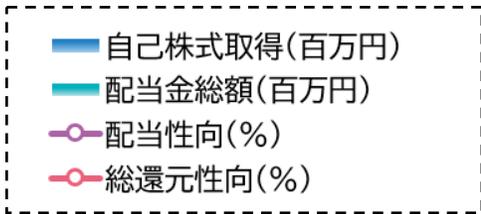


03. 株主還元

03. 株主還元 | 1株当たり配当金の推移



03. 株主還元 | 配当金総額と自己株式取得の推移

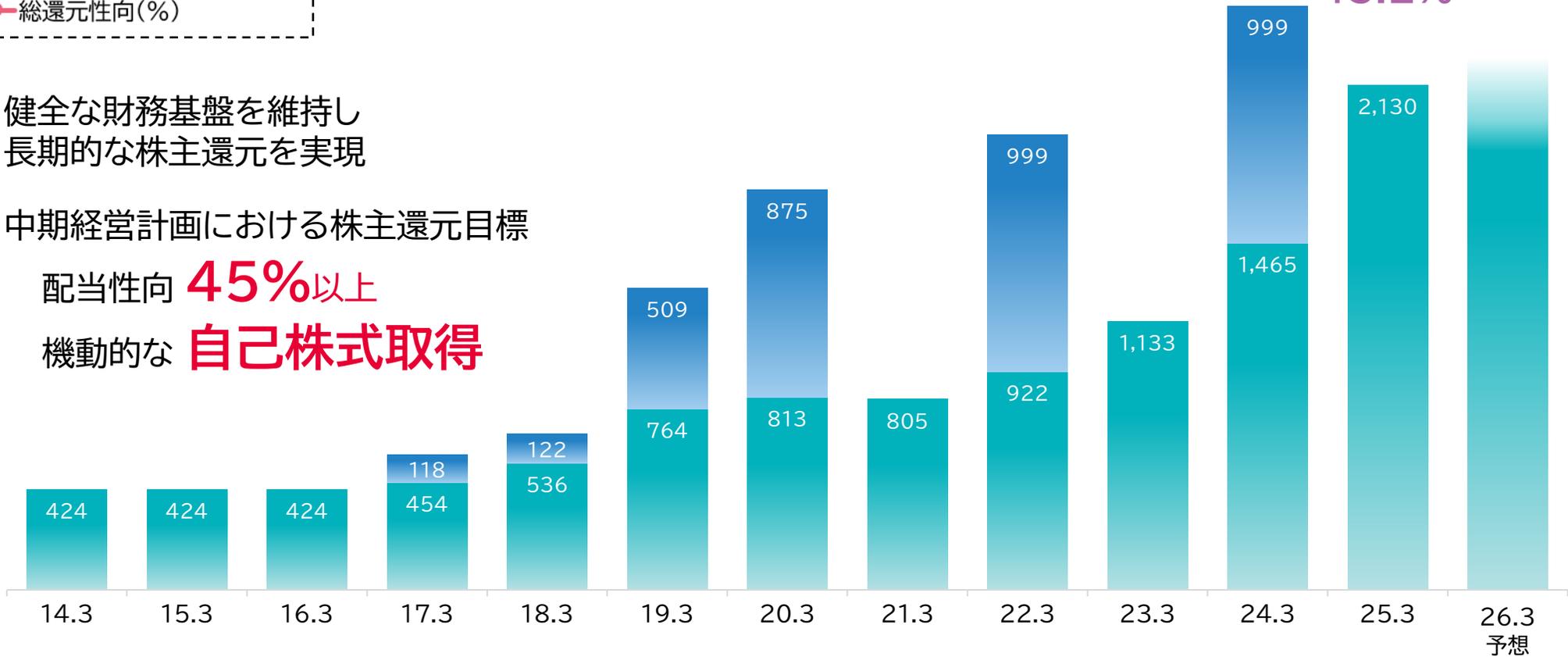


機動的な
自己株式取得

- 健全な財務基盤を維持し
長期的な株主還元を実現
- 中期経営計画における株主還元目標

配当性向 **45%以上**

機動的な **自己株式取得**



2025年4月1日
株式分割を実施
1株→4株

1株当たり
年間配当金

6.25円	6.25	6.25	6.75	8	11.5	12.5	12.5	14.5	18	23.5	33.5	35円
-------	------	------	------	---	------	------	------	------	----	------	------	------------

※1株当たり配当金は、2025年4月1日に実施した株式分割(1株→4株)後ベースに調整しております。

04. 事業セグメント別

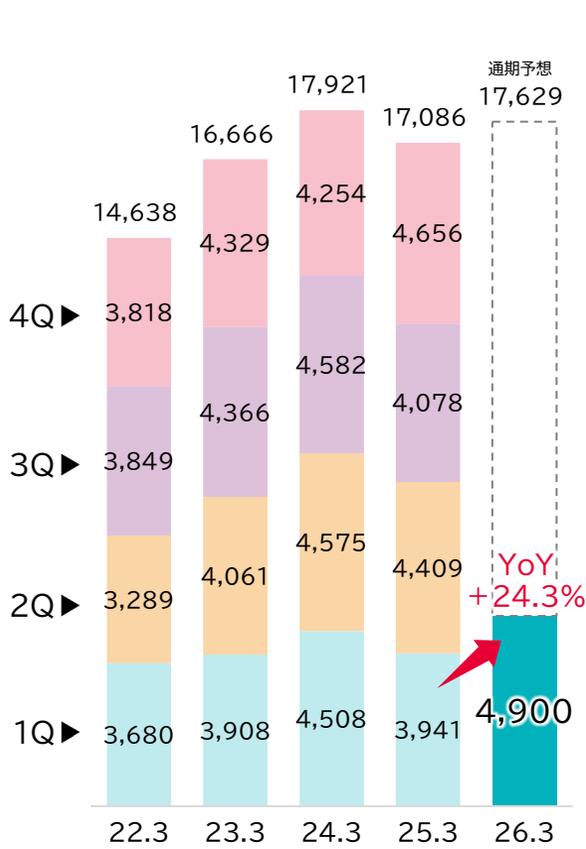
04. 事業セグメント別 | システム開発(SI)

<事業セグメント>			
情報ソリューション			製品開発製造
SI	サービス	システム	
超高速開発	クラウド	セキュリティ	

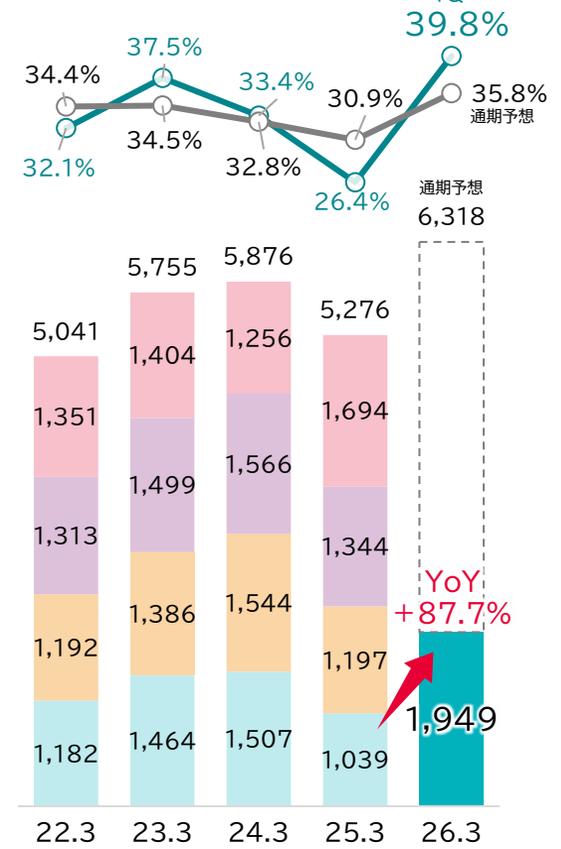
ハイライト 前期4Q以降、大型プロジェクトが順調に進捗したことで**業績が正常化**、当期1Qもその流れを**継続**

業績推移

売上高(単位:百万円)



売上総利益(単位:百万円)



業績概況

- 超高速開発・従来型開発、共に順調に進捗
 - ▶ 売上高 YoY 超高速開発 +57.1% 従来型開発 +36.3%
- 複数のプロジェクトで売上・利益の比重が最も高い開発フェーズの完了が集中
- 1Qに売上・利益が集中したものの、通期では期初予想通りの着地を見込む

事業活動の進捗

- 進行中の約20件の基幹システム開発プロジェクトに引き続き注視しながら、完遂に向けてリソースを集中して対応
- システム開発におけるAI活用を積極的に推進中

Topics 2件のお客様事例をご紹介します

- サクラクレパス、40年ぶりに基幹システムをアジャイル開発で刷新、在庫のリアルタイム表示により通販事業の売上高2年連続4割増、内製化でグループ5社へ展開
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/07/23/110000.html>
- 大阪・関西万博へのアクセス、Osaka Metro全路線の列車混雑をAI予測 ニューラルネットワークによる高精度AIモデルを構築、7/31(木)よりサービス開始
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/07/24/140000.html>

04. 事業セグメント別 | サービス

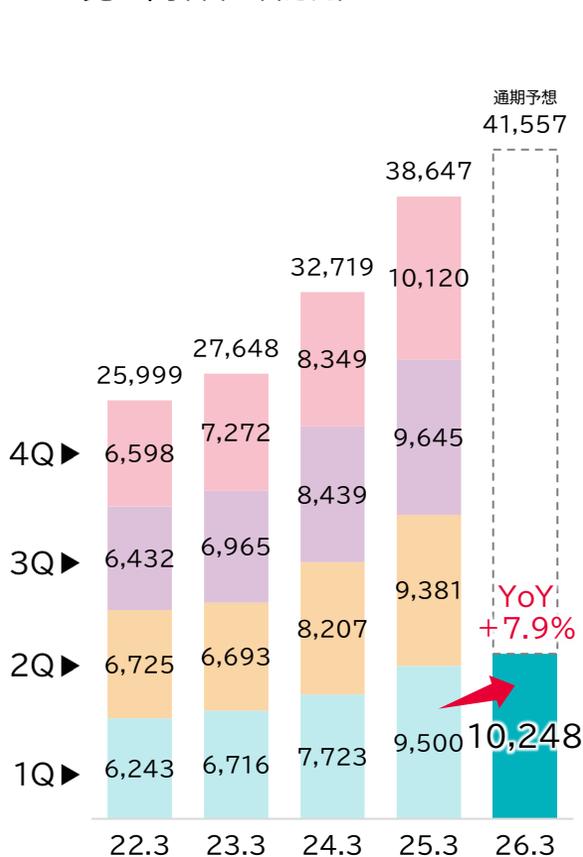
<事業セグメント>			
情報ソリューション			
SI	サービス	システム	製品開発製造
超高速開発	クラウド	セキュリティ	

ハイライト

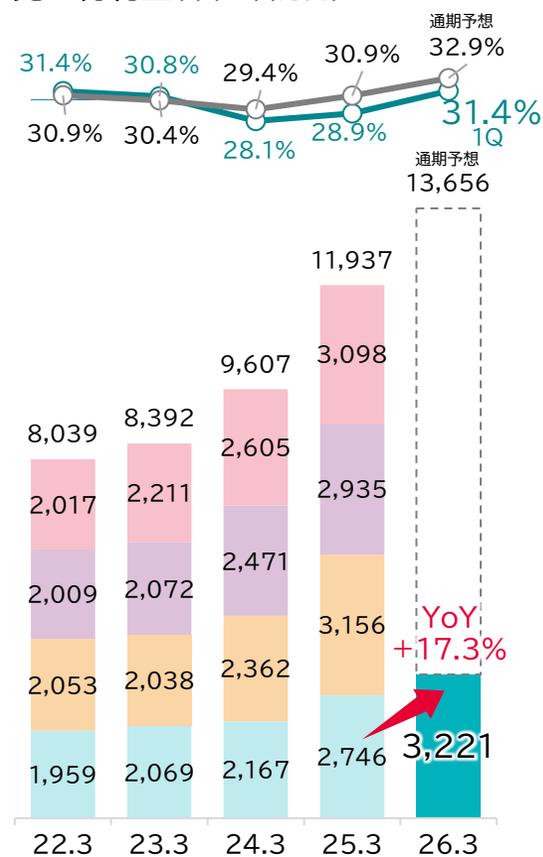
注力事業であるクラウド、セキュリティの**売上高・利益**ともに**好業績を継続**

業績推移

売上高(単位:百万円)



売上総利益(単位:百万円)



業績概況

- 「クラウド」「セキュリティ」が好調、売上高・利益に貢献
 - ▶ 売上高 YoY クラウド +39.6% セキュリティ +32.4%
- 機器保守代行等の低付加価値サービスから高付加価値サービスへの移行加速
- ストックビジネスの新規受注が下期業績を押し上げ、通期業績は期初予想通りの着地を見込む
 - ▶ 新規月額受注額YoY クラウド +13.3% (月額新規受注高 101百万円、過去最高水準)
セキュリティ +19.2% (月額新規受注高 62百万円、過去最高を更新)

事業活動の進捗

- マルチクラウドとセキュリティが包括された全体最適提案が高評価
- VMware社による値上げを契機としたクラウド移行の需要拡大
- 大手企業のニーズに応えるセキュリティ診断サービスで案件大型化

Topics

お客様事例をご紹介します

- 新国立劇場、オンプレシステムを Microsoft クラウドへ移行・刷新し35%コスト削減、JBCCがクラウド&セキュリティの最適化にトータルで伴走
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/04/24/110000.html>

04. 事業セグメント別 | システム／製品開発製造

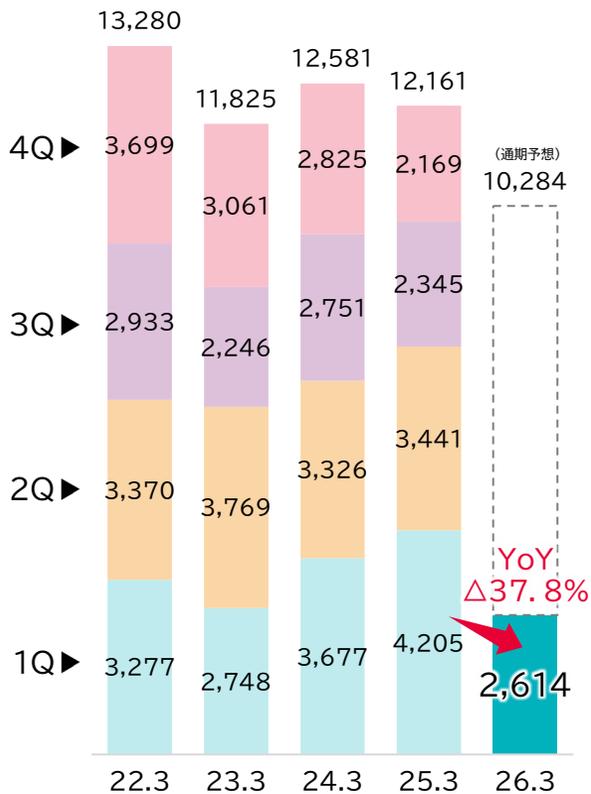
<事業セグメント>				
情報ソリューション				製品開発製造
SI	サービス		システム	
超高速開発	クラウド	セキュリティ		

システム

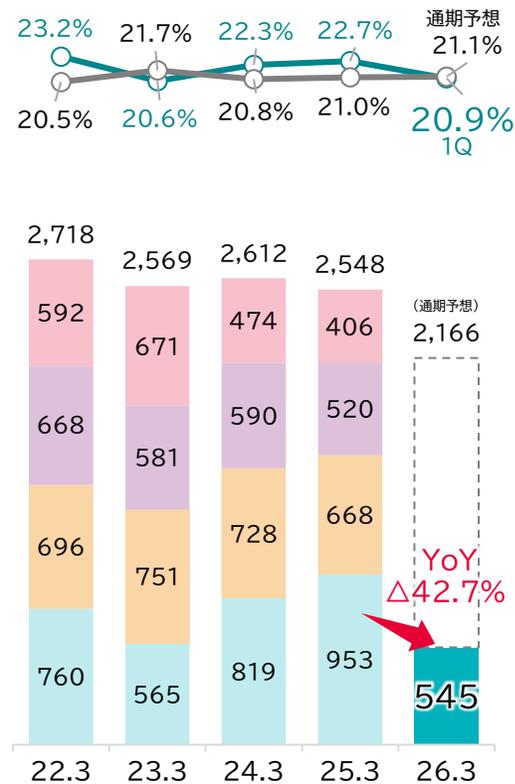
業績推移

- 当1Qは想定通りの進捗。クラウドファースト提案に注力。
- モダナイゼーションの一定の需要は継続。今後一時的な上振れの可能性あり

売上高(単位:百万円)



売上総利益(単位:百万円)

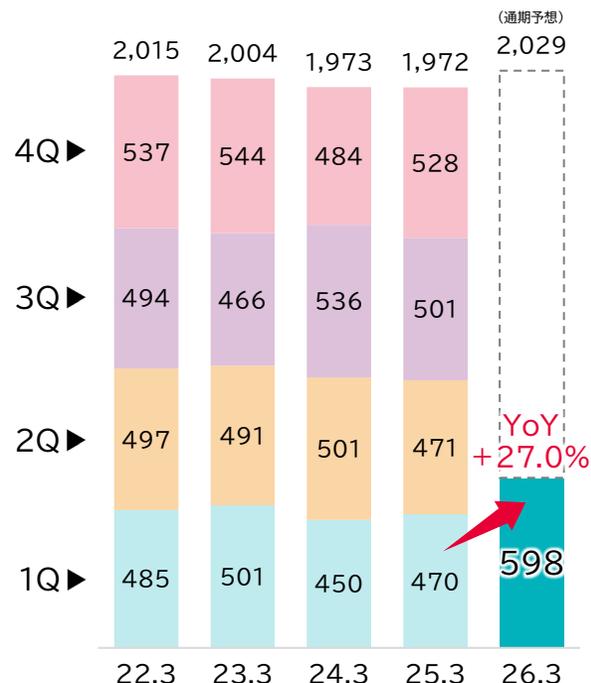


製品開発製造

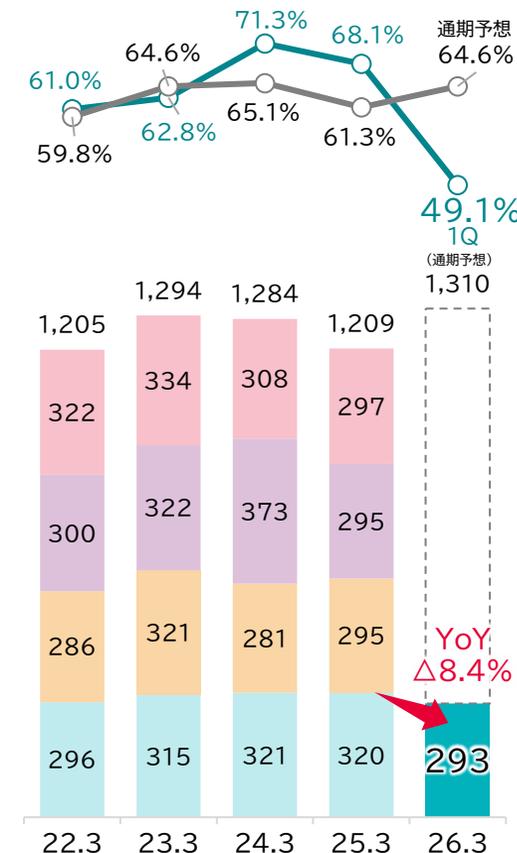
業績推移

- ソフトウェア分野はストック化を推進(パッケージ販売からの切り替え)
- 当1Qはプリンターサポート終了による入れ替え需要が重なり、収益性の低いプリンター販売が一時的に増加

売上高(単位:百万円)



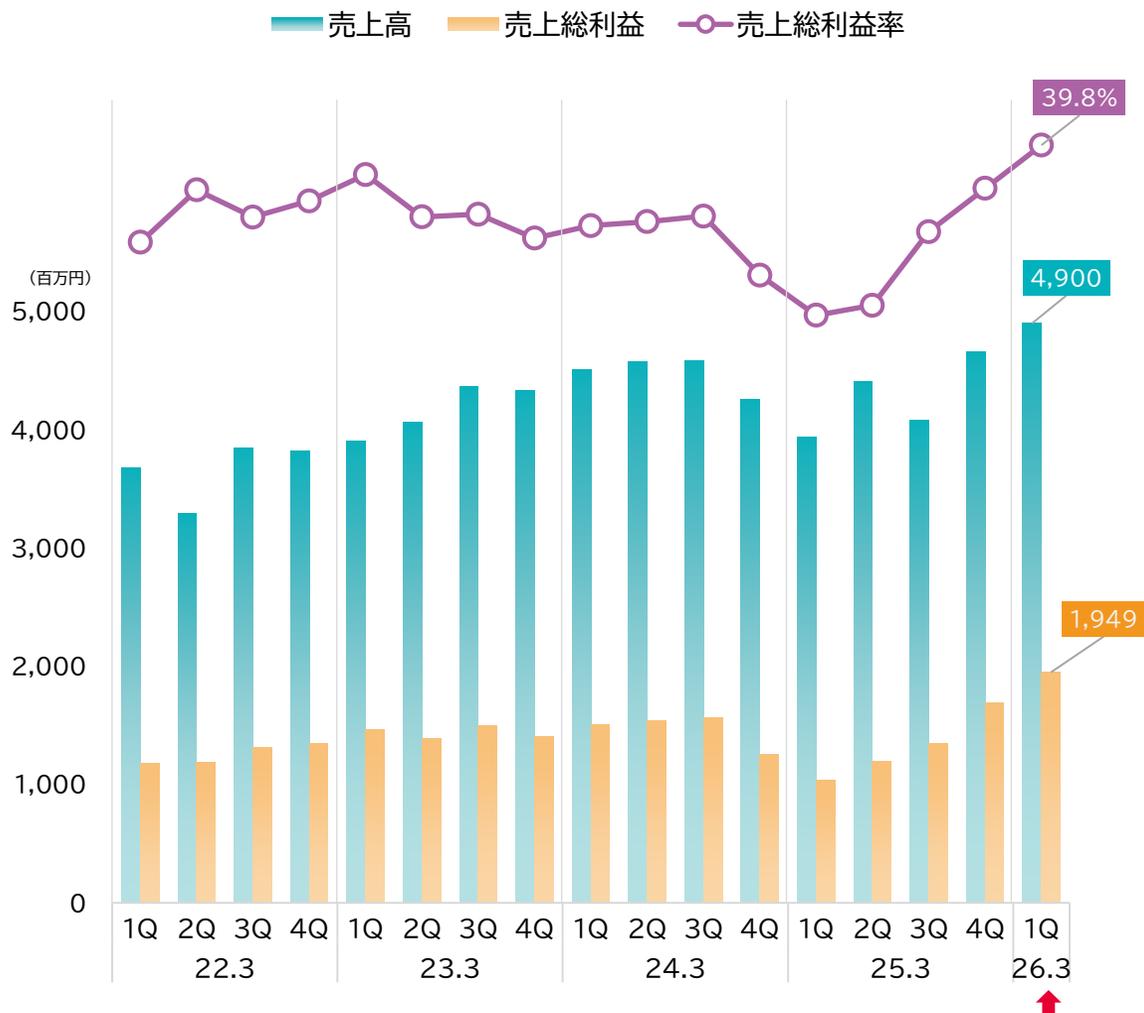
売上総利益(単位:百万円)



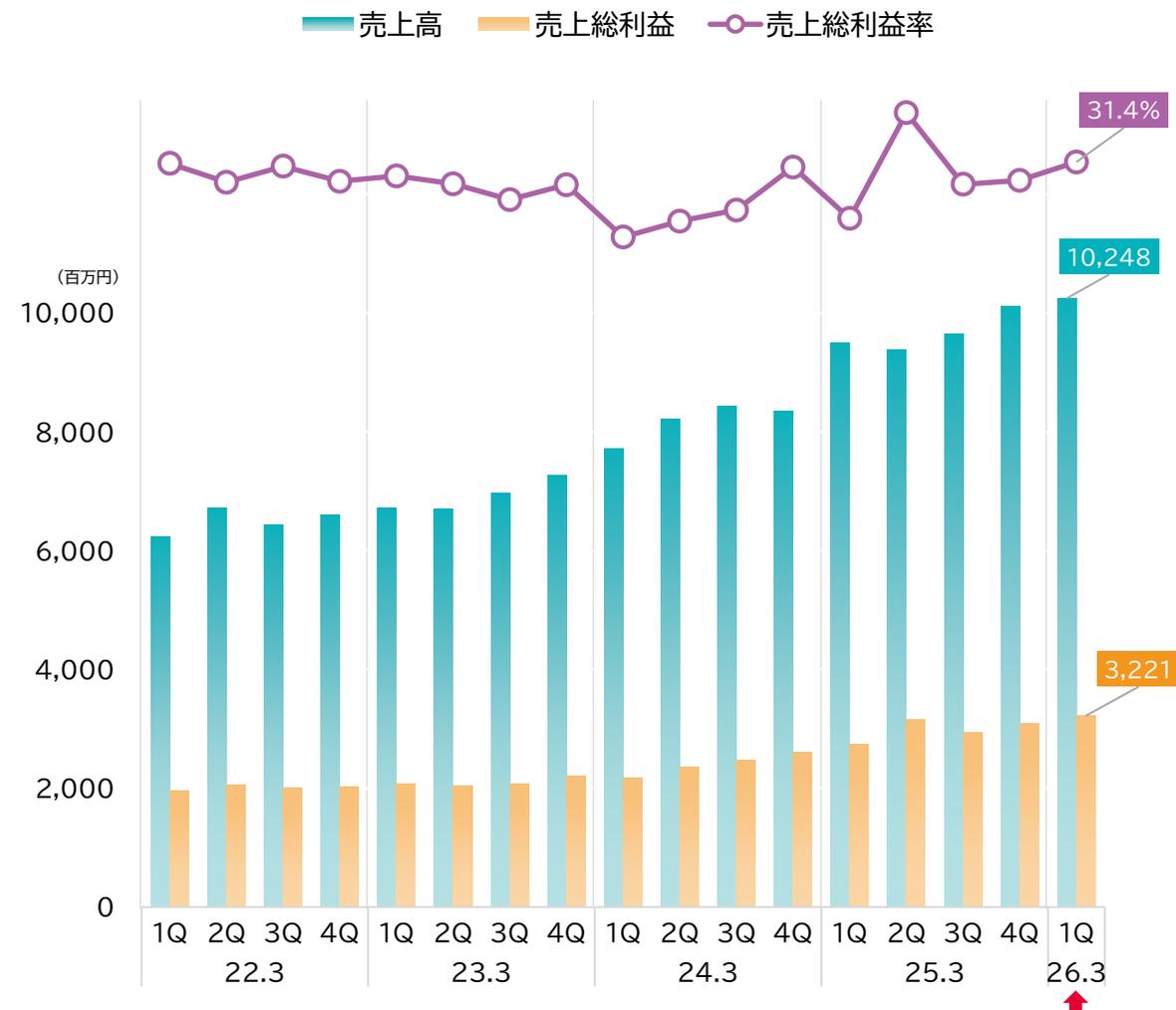
04. 事業セグメント別 | 四半期別業績推移(1/2)

<事業セグメント>			
情報ソリューション			製品開発製造
SI	サービス		
超高速開発	クラウド	セキュリティ	
システム			

システム開発(SI)



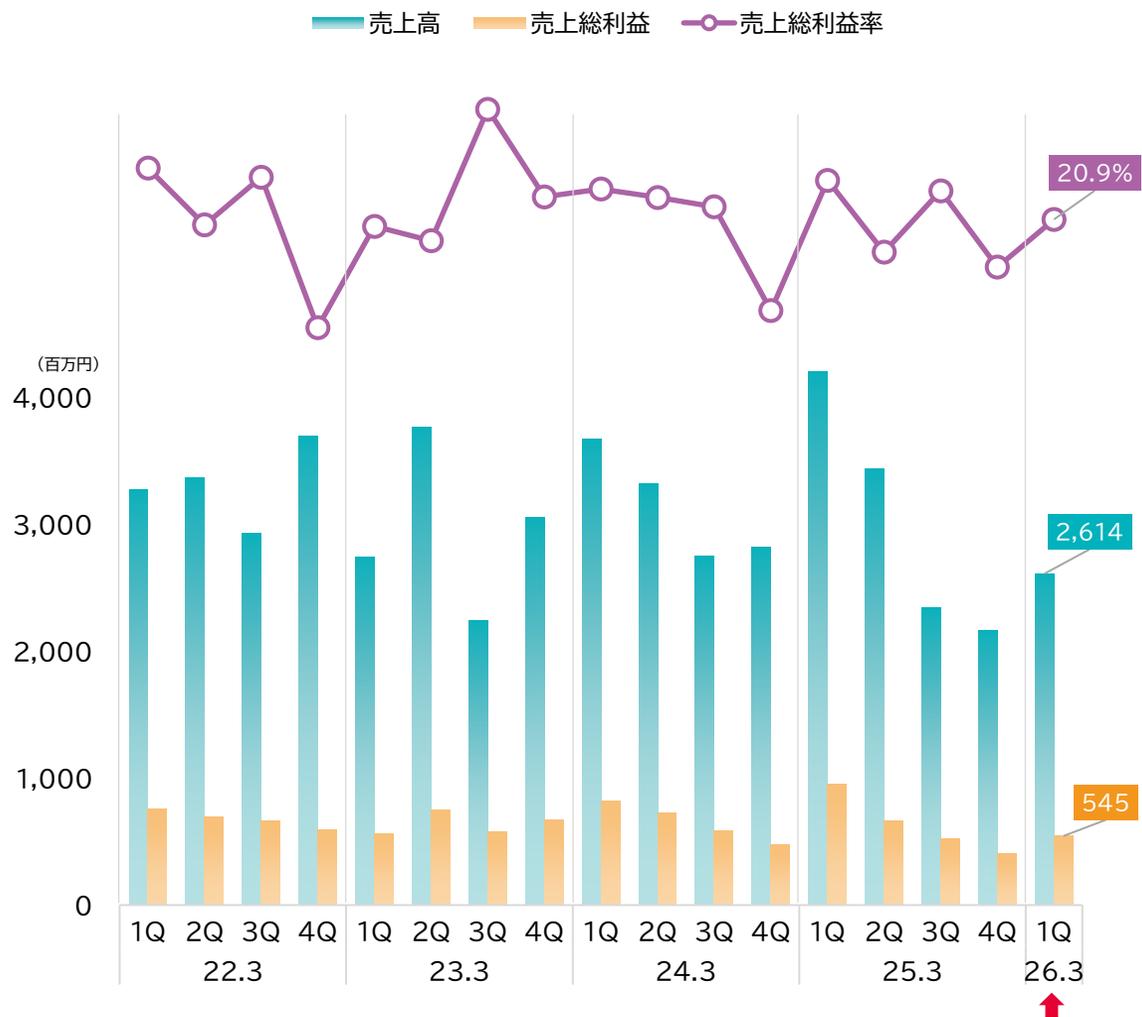
サービス



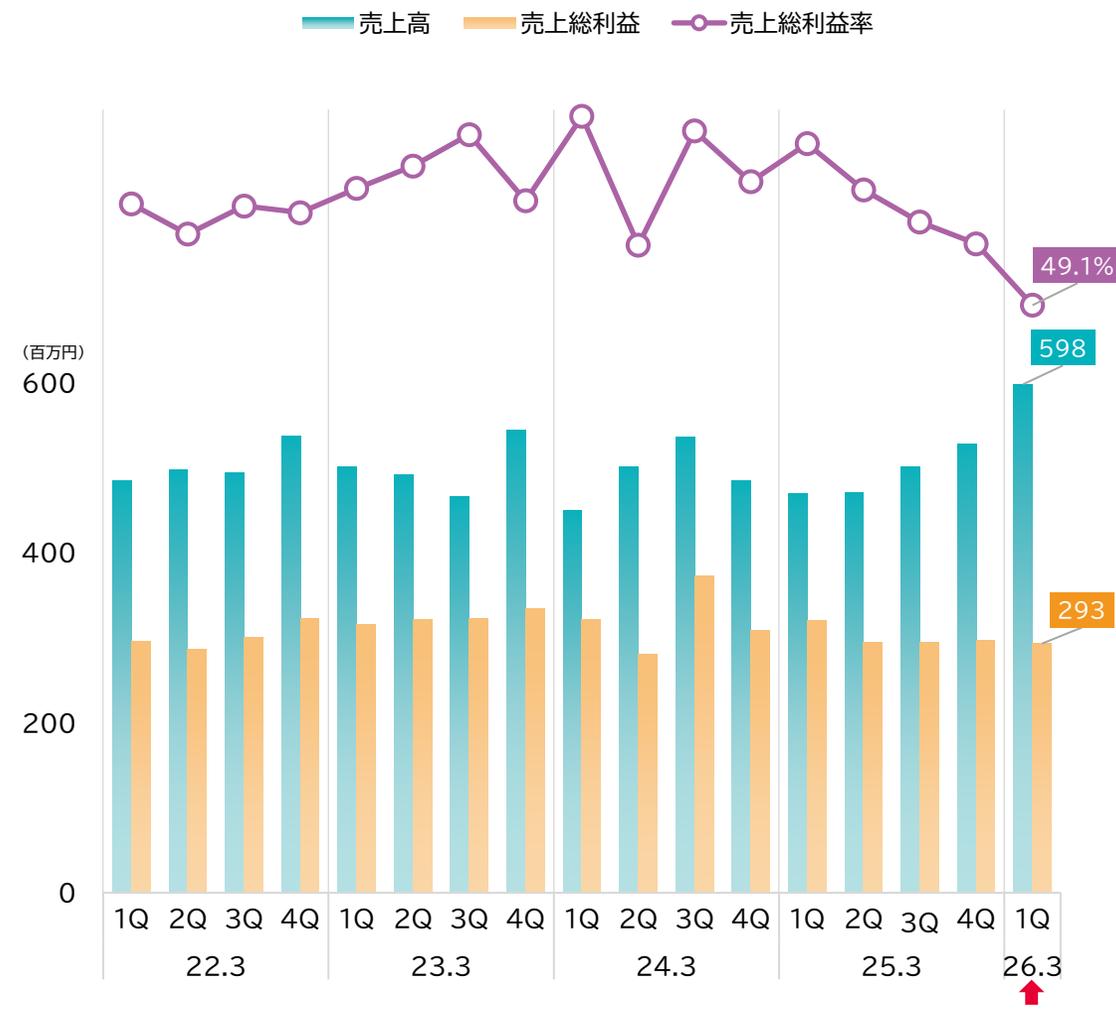
04. 事業セグメント別 | 四半期別業績推移(2/2)

情報リユース				製品開発製造
SI	サービス		システム	
超高速開発	クラウド	セキュリティ		

システム



製品開発製造

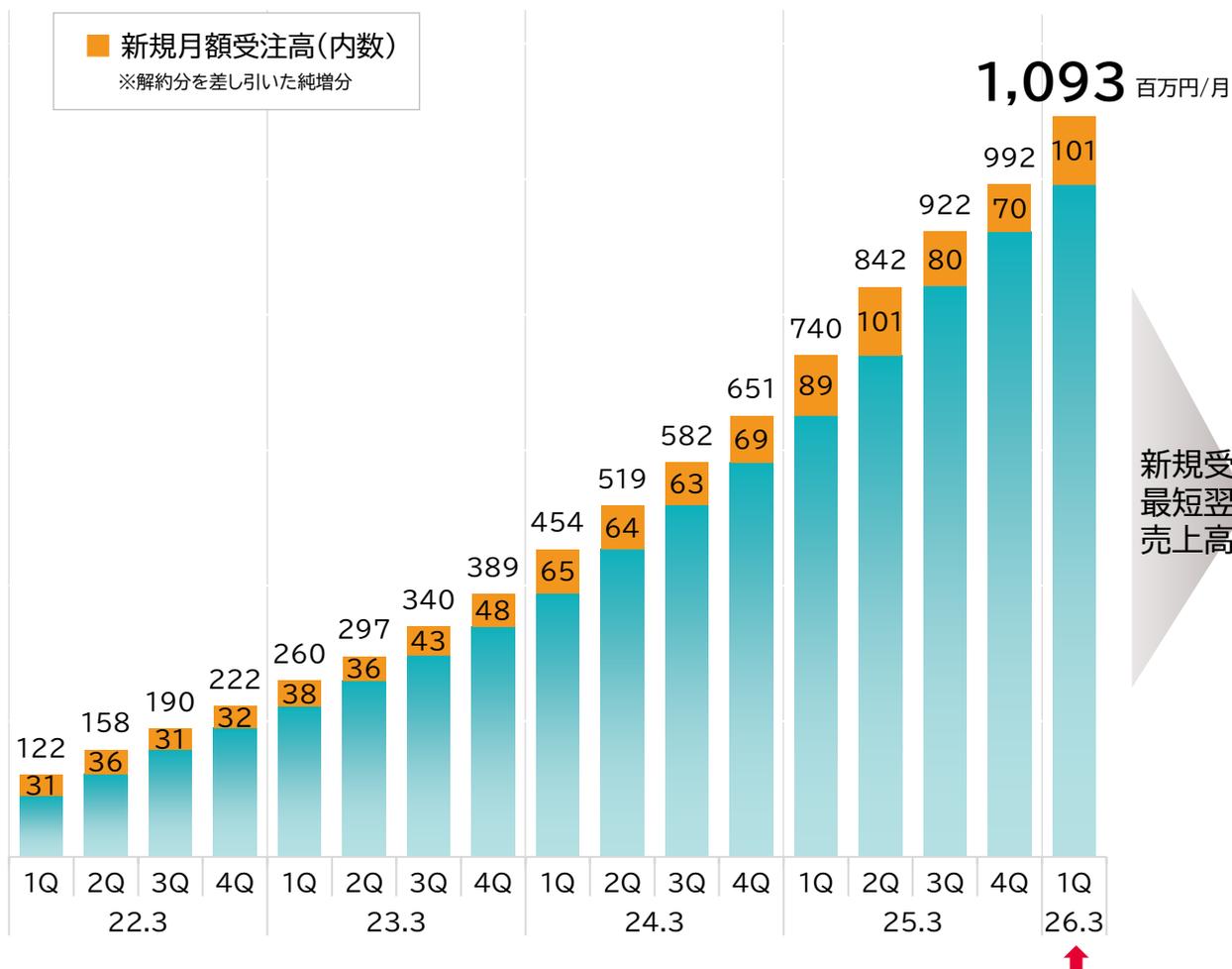


05. 注力事業

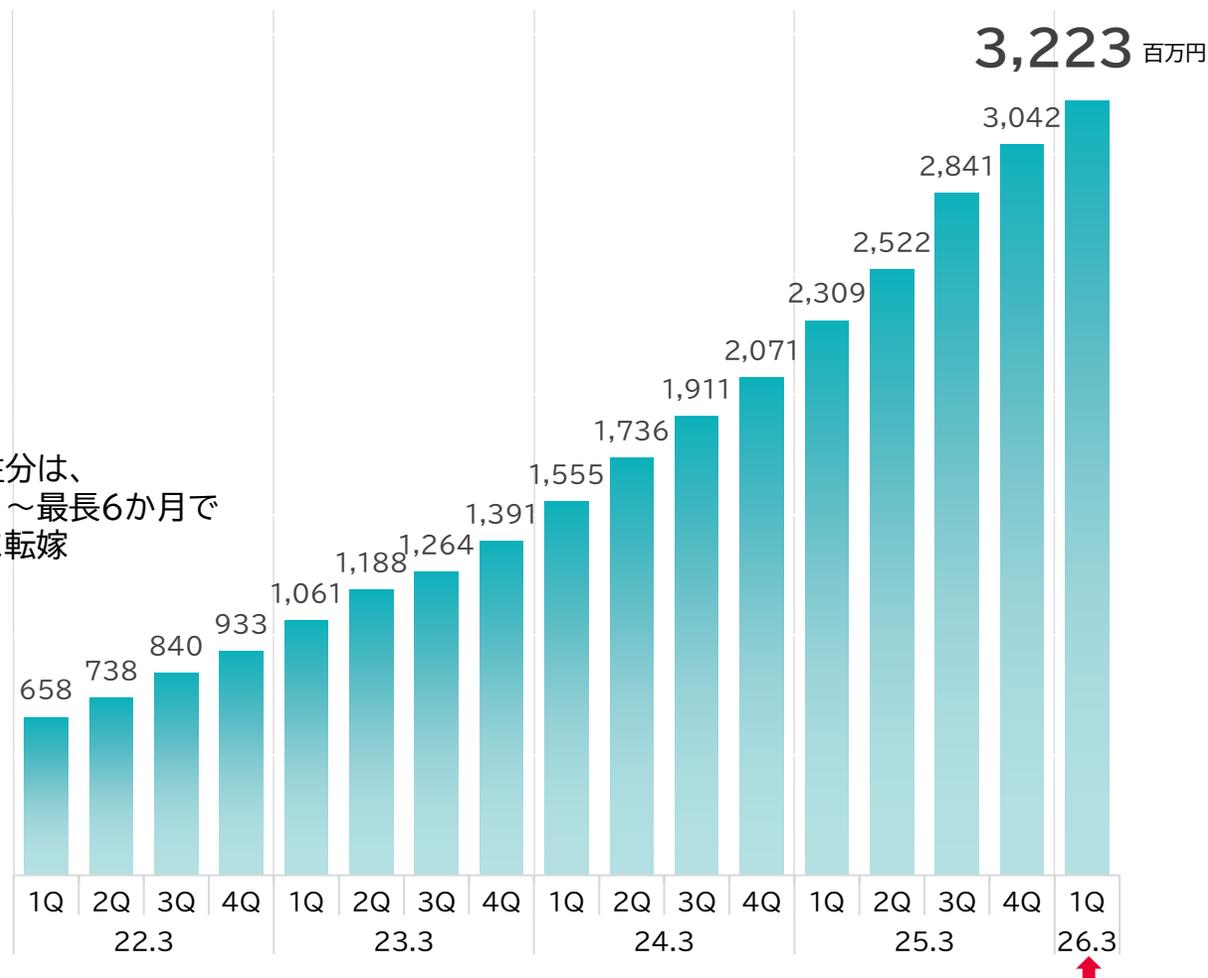
05. 注力事業 | クラウド - 四半期別業績推移

<事業セグメント>			
情報ソリューション			
SI	サービス	システム	製品開発製造
超高速開発	クラウド	セキュリティ	

四半期別月額受注高累計



四半期別売上高推移

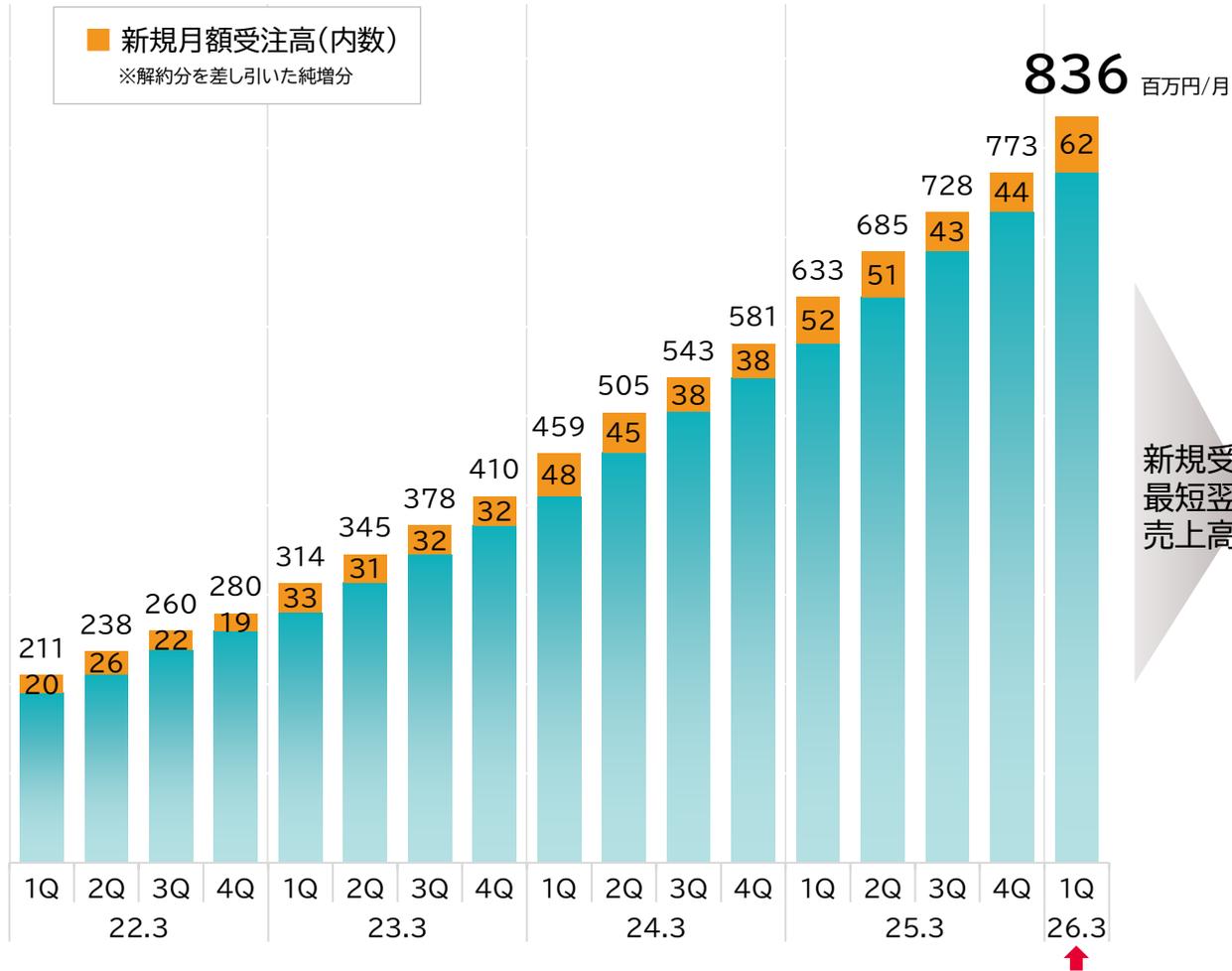


新規受注分は、
最短翌月～最長6か月で
売上高に転嫁

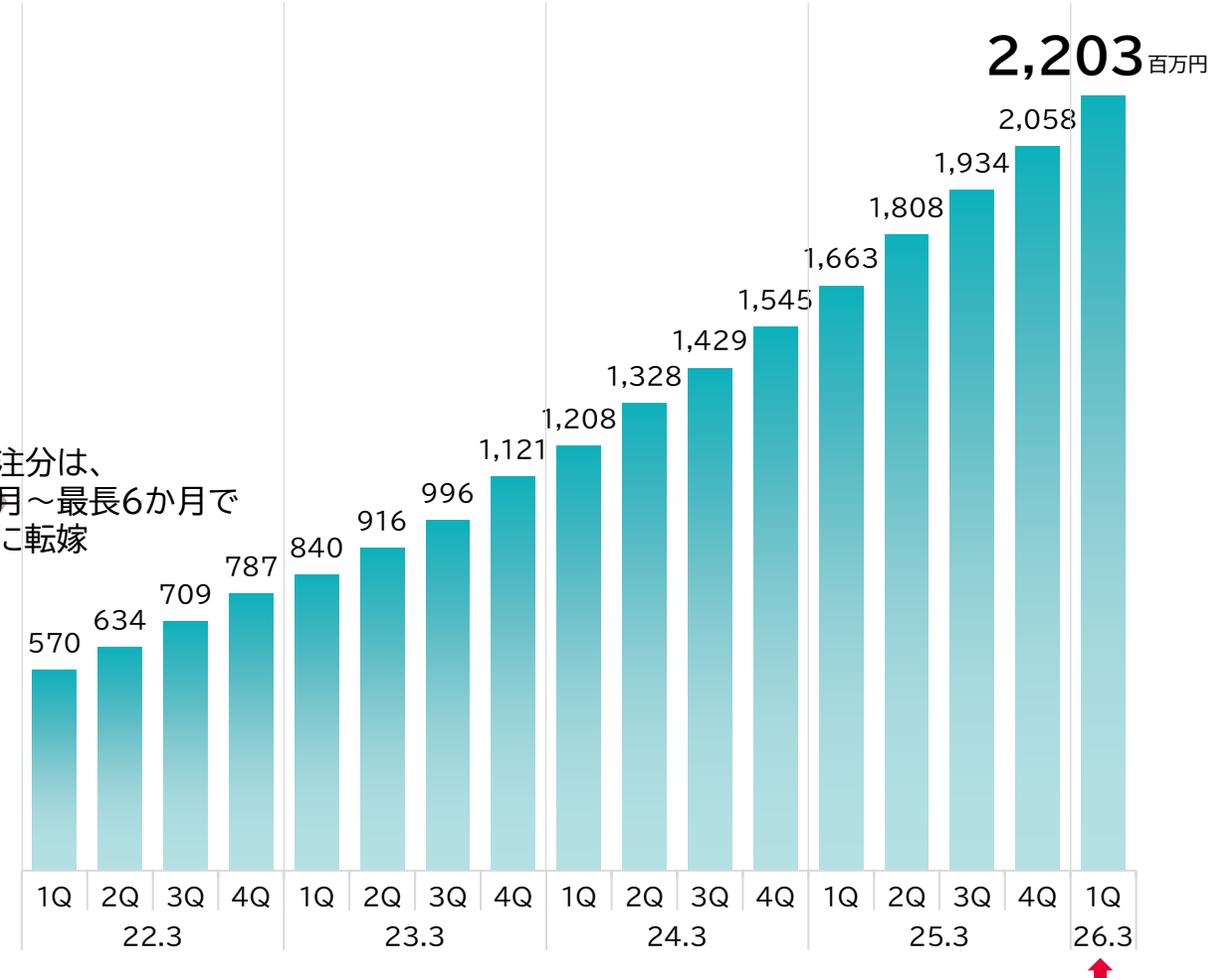
05. 注力事業 | セキュリティ - 四半期別業績推移

情報ソリューション				製品開発製造
SI	サービス		システム	
超高速開発	クラウド	セキュリティ		

四半期別月額受注高累計



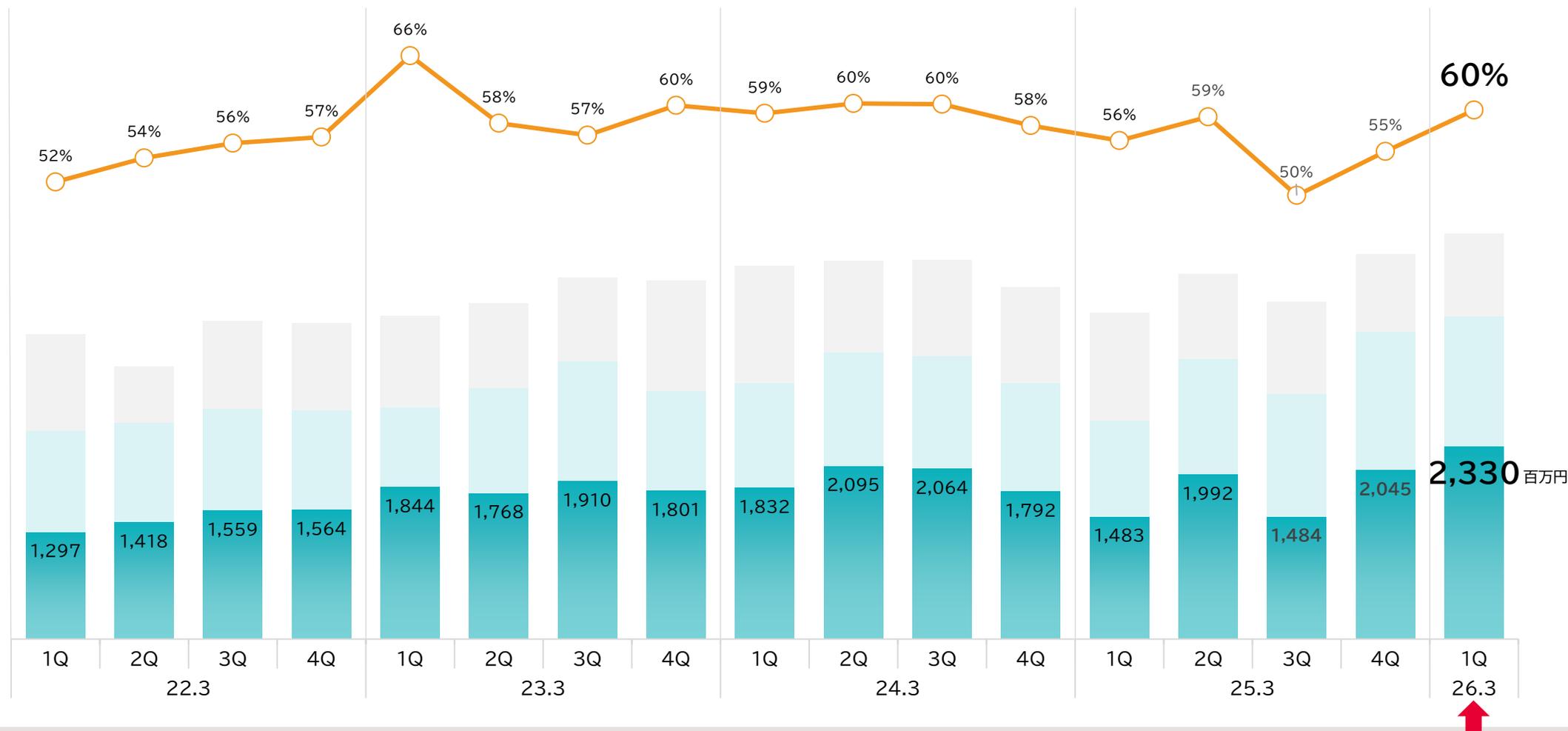
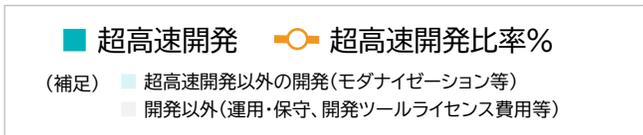
四半期別売上高推移



05. 注力事業 | 超高速開発 - 四半期別業績推移

<事業セグメント>			
情報ソリューション			製品開発製造
SI	サービス	システム	
超高速開発	クラウド	セキュリティ	

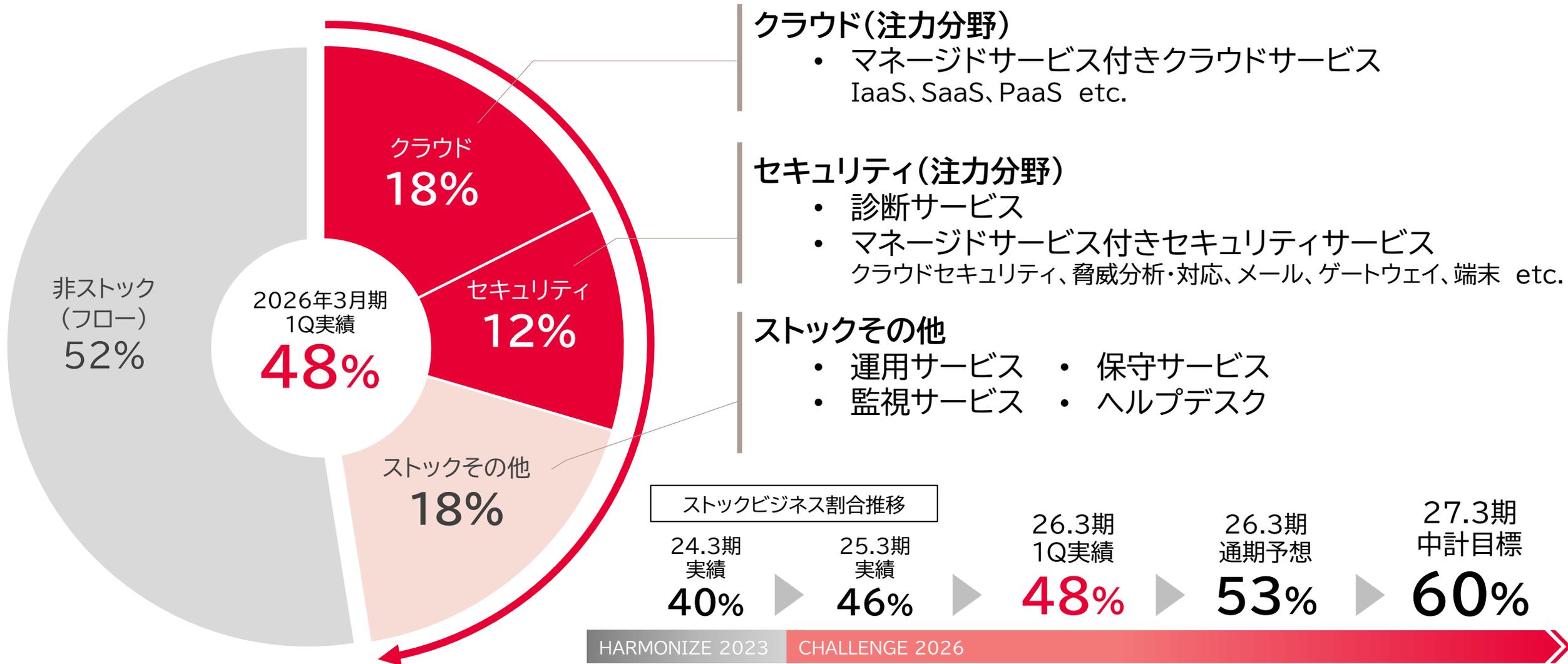
四半期別売上高推移



06. ストックビジネス割合

06. ストックビジネス割合 | 売上高に占めるストックビジネス割合

- 注力事業であるクラウド、セキュリティが牽引し、計画値通りに進捗



Appendix

企業のデジタル・トランスフォーメーションを実現するため、お客様の環境に合わせてクラウド&セキュリティ、超高速開発等、ITに関するサービスを提供

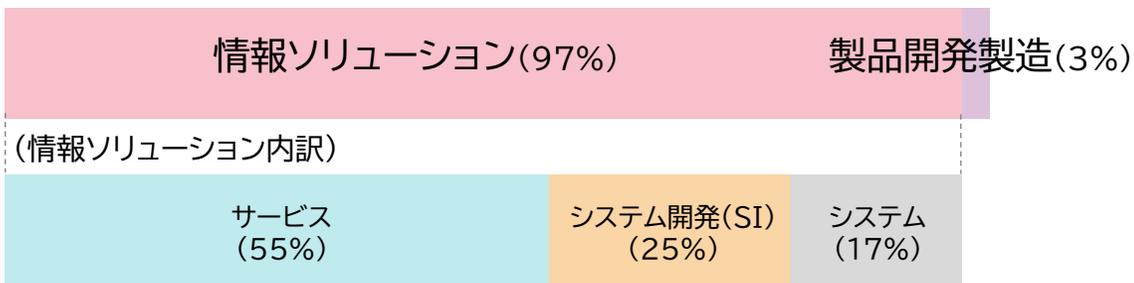
社名 : JBCCホールディングス株式会社
[東証プライム市場 情報・通信業 9889]

設立 : 1964年4月1日

資本金 : 47億13百万円

従業員数 : 2,014名 [有期社員を含む連結]

事業セグメント :



事業会社: 8社 (国内 48拠点、海外 4拠点)

全国展開	運用・保守 サービス	中部地区	九州地区
開発支援	上海・広州・大連	バンコク	コーポレート・ファンクション



本社:八重洲オフィス

※2025年4月1日現在

AI

- 大阪・関西万博へのアクセス、Osaka Metro全路線の列車混雑をAI予測
ニューラルネットワークによる高精度AIモデルを構築、7/31(木)よりサービス開始 *2025.7.24発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/07/24/140000.html>

クラウド

- 新国立劇場、オンプレシステムを Microsoft クラウドへ移行・刷新し35%コスト削減
JBCCがクラウド&セキュリティの最適化にトータルで伴走 *2025.4.24発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/04/24/110000.html>

クラウド

- JBCC、サイボウズのオフィシャルパートナー評価制度で最高評価を獲得 *2025.6.23発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/06/23/110000.html>

クラウド

- JBCC、OBC 奉行 Award 2024-2025 においてPartner of the Yearを受賞 *2025.6.10発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/06/10/110000.html>

超高速開発

- サクラクレパス、40年ぶりに基幹システムをアジャイル開発で刷新、
在庫のリアルタイム表示により通販事業の売上高2年連続4割増、内製化でグループ5社へ展開 *2025.7.23発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/07/23/110000.html>

超高速開発

- ヤマシナ、自動車部品の複雑な生産工程を支える基幹システムをアジャイル開発で刷新、
工程進捗の可視化によりDXを加速、内製化体制を整えグループ企業に展開へ *2025.5.22発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/05/22/110000.html>

ヘルスケア

- 特定医療法人敬愛会 東近江敬愛病院 様 電子カルテのクラウド化で、災害リスクに備える *2025.5.27発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/05/27/110000.html>

IR

- 2025年5月13日 決算説明会書き起こし【QAあり】(外部サイトへリンクします) *2025.5.21発表
<https://finance.logmi.jp/articles/381826>

IR

- Sponsored Research Report - FY03/2025 (英文スポンサードレポート) *2025.6.20発表
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/9889/ir material for fiscal ym/181954/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/9889/ir%20material%20for%20fiscal%20ym/181954/00.pdf)

定時株主総会

- 第61期定時株主総会動画(外部サイトへリンクします) *2025.6.20発表
<https://irpresentation.net/ir/9889/61soukai/index.html>

定時株主総会

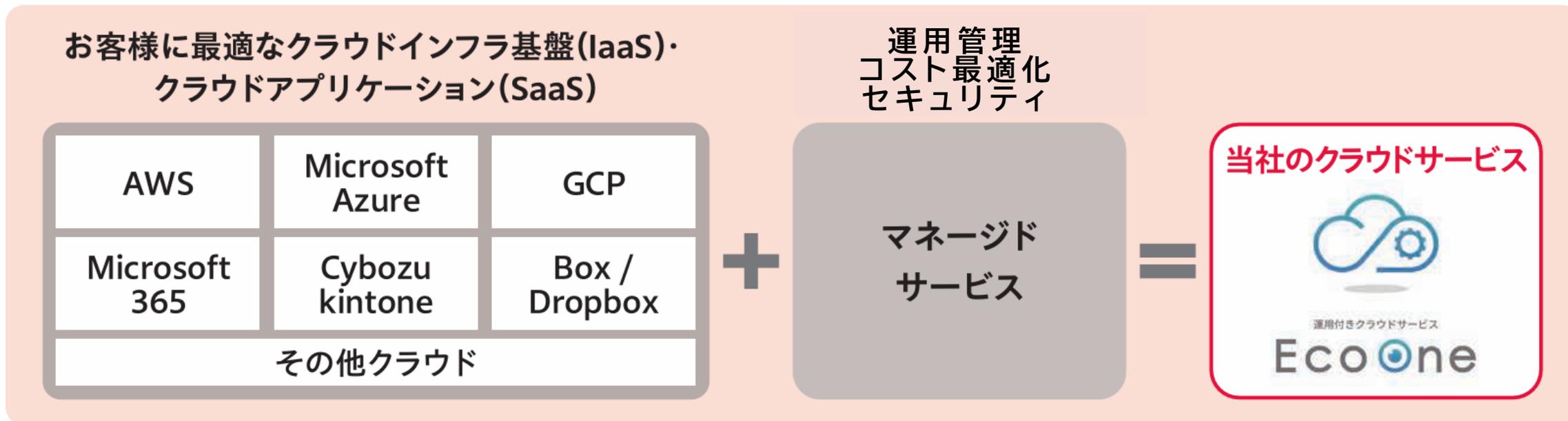
- 第61期提示株主総会決議ご通知 *2025.6.17発表
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9889/announcement/111673/00.pdf>

人的資本経営

- 譲渡制限付株式としての自己株式の処分に関するお知らせ *2025.7.9発表
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9889/tdnet/2652715/00.pdf>

人的資本経営

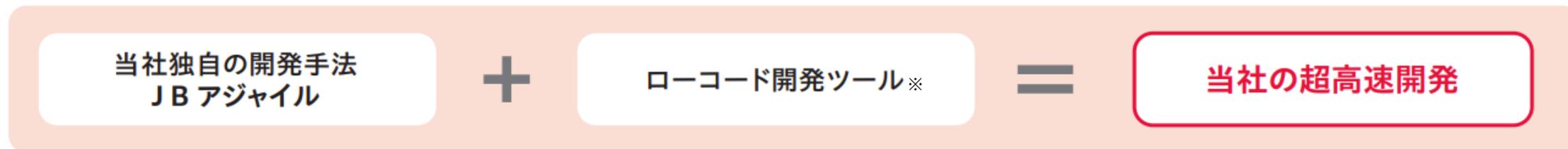
- ハワイ、シドニー等、国内外の旅行メニューを自由に選択できる社員旅行制度を導入
グループ全社員2,000名を対象に福利厚生を拡充、人材確保へ *2025.5.14発表
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/05/14/110000.html>



- **平均30%コスト削減**を実現する**クラウド移行コンサルティング**
- **クラウド移行後**も継続的に提供する**コスト最適化サービス**
- **監視**や**バックアップ**などの運用をサポートする**運用管理サービス**
- **SaaS**の**利活用/定着化**を実現し、**投資対効果を最大化**する**DXワークショップ**
- クラウド移行・コスト最適化で削減したコストは、企業のDXを推進する**戦略投資**や、セキュリティリスクに対応する**守りの投資**へ
- クラウド移行**600社以上**、SaaSサービス提供**2,400社以上**



- **セキュリティリスク**を可視化し、**全体提案・対応ロードマップ策定**
- **ゼロトラスト**セキュリティ、**マルチクラウド**セキュリティに対応
- サービス利用開始後は、**定期的な診断**と**改善対応**で**継続的に保護**
- インフラベンダーとしての**豊富な実績**が、セキュリティインシデント発生時の**迅速な原因特定**から**システム復旧**まで対応
- セキュリティサービスの提供実績は**1,300社**を超え、製造、流通、医療など、**幅広い事業領域**のお客様に提供



超高速開発の開発フロー



マイクロアセットサービスを推進

注力業種への
マイクロアセットの適用

学習塾 / 建材業 / 鉄鋼業 / 食品業

品質
向上

生産性
向上

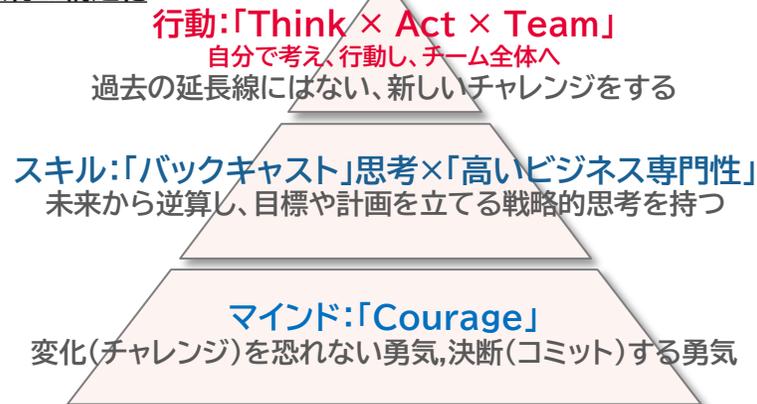
- デモ環境を整備し、パッケージに勝る提案が可能に
- 初期段階で構想策定をすることで新規に開発する機能をスリム化、汎用的な機能はアセットを活用
- アジャイル開発でありながら、要件定義を実施することで基幹システムの全体像を把握
- ローコード開発ツールを利用することで、物理バグのリスクを低減
- 実際に動くシステムを確認しながら5回の反復開発、要件の抽出とプロジェクト終盤に発覚する手戻りリスクを最小化
- 経営課題を解決するための本質的な要求をあぶり出し、お客様要望を実現(高品質を実現)

- JBCCグループの未来をつくる「価値創造型人材」の採用、育成、配置、従業員エンゲージメントを戦略的に推進し、持続的な事業の成長と企業価値の向上を実現

人材戦略

JBCCグループが求める人材像の明確化

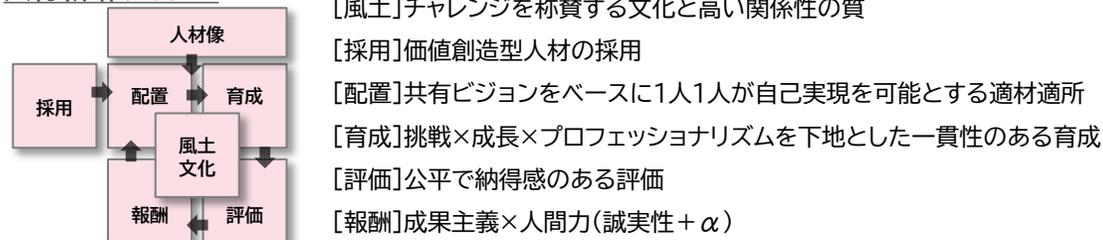
価値創造型人材の構造化



JBCCバリュー(重要な価値観)

プロフェッショナルとしての成長/チャレンジ(未来づくりへの挑戦)/とことん考え抜く/
(人を魅了する)人間力/チーム・仲間への貢献

人材戦略サイクル



具体的な施策/人材への投資

人材戦略投資 '24 計画通りに進捗 6.6億円 '25 10億円予定

- 採用**
- 新卒: リクルーター制度導入、面接官トレーニングの実施等による採用手法の洗練
→ 2025年度新卒採用72名(対前期比1.4倍)、女性比率43.2%
 - キャリア: 採用HP改定等によるダイレクトリクルーティング強化、リファラル制度拡充
→ 求人エントリー者数対前年比3.2倍

- 育成**
- 従業員の主体性(自己実現)尊重しつつ、組織ニーズを満たす人材育成プログラム
 - JBCCアカデミーの展開
→ 社内教育: SE向け60講座実施し、延べ3,525名が受講
→ 社会貢献: 就労支援団体に6講座実施のほか、社外技術コミュニティへの参画
 - リーダーシップ研修の強化
→ 役員向けワークショップ、リーダー向け研修、対話品質向上ワークショップ

処遇・制度/多様性

- 人的資本への重点的な投資として、業績上位80%の従業員に対し平均7%の昇給
- パルスサーベイおよび社内ハラスメント相談窓口新設
- 福利厚生プログラム「J-Care」の体系化と、画期的な社員旅行制度の新設
- 女性管理職向けタウンホールなど女性活躍推進をはじめとしたD&I施策の展開
→ 女性管理職比率13.4%(対前期比0.9pts向上)
- 評価制度の見直し(JBCCバリューの評価項目採用による人的評価基準の設定)



人的資本経営品質2024

本調査は、金融商品取引法に定められた有価証券報告書での人的資本情報開示の義務化を背景に、2022年より開始したものです。人的資本経営と開示に関する企業・団体等の取り組み状況の調査としては国内最大規模で、学識経験者らが特に優れた取り組みをしている企業を認定します。2024年調査では206社がアンケートに回答しました。

アンケート結果は定量分析され、人的資本経営・開示の取り組みが高水準で実践されていると認められた企業が「人的資本経営品質2024」として認定されます。2024年は、最高水準であるゴールド賞に17社、次いで高い水準での取り組みをしていると認められるシルバー賞に、当社を含めた20社が認定されました。

今回の受賞では、特に「企業文化への定着のための取り組み」「多様な人材が活躍できる仕組み」「比較可能性のある人的資本開示への対応」の項目が高く評価されました。

取り組みの一例

● 企業文化への定着のための取り組み

グループ全社員参加のミーティングや各社各層単位の少人数でのラウンドテーブル実施など、双方向でのコミュニケーション

・JBCCグループキックオフミーティングに社長の生成AIアバターを採用。社長とAIアバターのリアルタイムな対話で方針や重点施策を全社員に説明。
<https://www.jbcchd.co.jp/news/2024/04/12/133000.html>

● 多様な人材が活躍できる仕組み

成果主義を導入、コアタイムのないフレックス制度やリモートワーク、短時間・短日数勤務など、多様な人材が多様な働き方を自ら選択。その他、定年撤廃(シニア社員活用)、複業推進(キャリア形成支援)

・当社の働き方「Style J」

<https://www.jbcchd.co.jp/sustainability/society/workstyle/>

● 比較可能性のある人的資本開示への対応

当社ホームページおよび「統合報告書 2024」(2024年10月発行)にて人的資本情報の推移を可視化、継続的に開示

・JBCCホールディングス 統合報告書(P45 非財務ハイライト)
<https://ss4.eir-parts.net/dcc/9889/materialforfiscalym5/166054/00.pdf>

・JBCCホールディングス ホームページ:「人的資本情報」
<https://www.jbcchd.co.jp/sustainability/society/people/>

● JBCCグループの更なる企業価値向上に向けたガバナンスの強化と、機動的な株主資本政策の推進

柔軟で強固な経営基盤の構築と、経営品質の向上推進

取締役会の取組み

- 監督と執行の分離によるガバナンスの健全性と経営の透明性の向上
→ 独立社外取締役3人(女性取締役1人)、社内取締役3人体制へ
- 取締役会スキルマトリックスの見直し

グループガバナンスの強化

- グループ内組織改編: JBCCによるJBATの吸収合併(2025年4月1日)
→ 経営資源の集中による顧客価値の向上とグループ全体の事業成長
- CxOマネジメントシステムの立ち上げ

戦略を実行するための組織改革

- 顧客セグメントによる新たなカバレッジモデル
→ 注力領域でより強みを発揮し更なる成長をするための体制の強化
- AIを含む注力事業領域に高度技術専門職15名を任命(4月末日現在)

資産効率の向上と、健全で強固な財務基盤の維持

株主資本政策

- 株式分割による流動性の向上及び最低投資額の引き下げ
→ 2025年4月1日付で4分割、4月1日終値ベースの最低投資額109,600円
- 政策保有株式の低減
→ 持ち合い比率: 10.9%→8.0%、継続的に削減の方針
- 信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)の導入
→ 2025年3月、自己株式605,300株(分割前)を信託
- 人材投資促進税制の活用
→ 当期196百万円を節税(対前期81百万円の削節税額増)

(2025年5月12日 上方修正公表)

利益率の向上および資産効率を高めることにより、健全な財務基盤を維持し、長期的な株主還元を実現します。

持続的な企業価値向上

売上高
745億円以上

営業利益率
11%以上

ROE
20%以上

株主還元の拡充

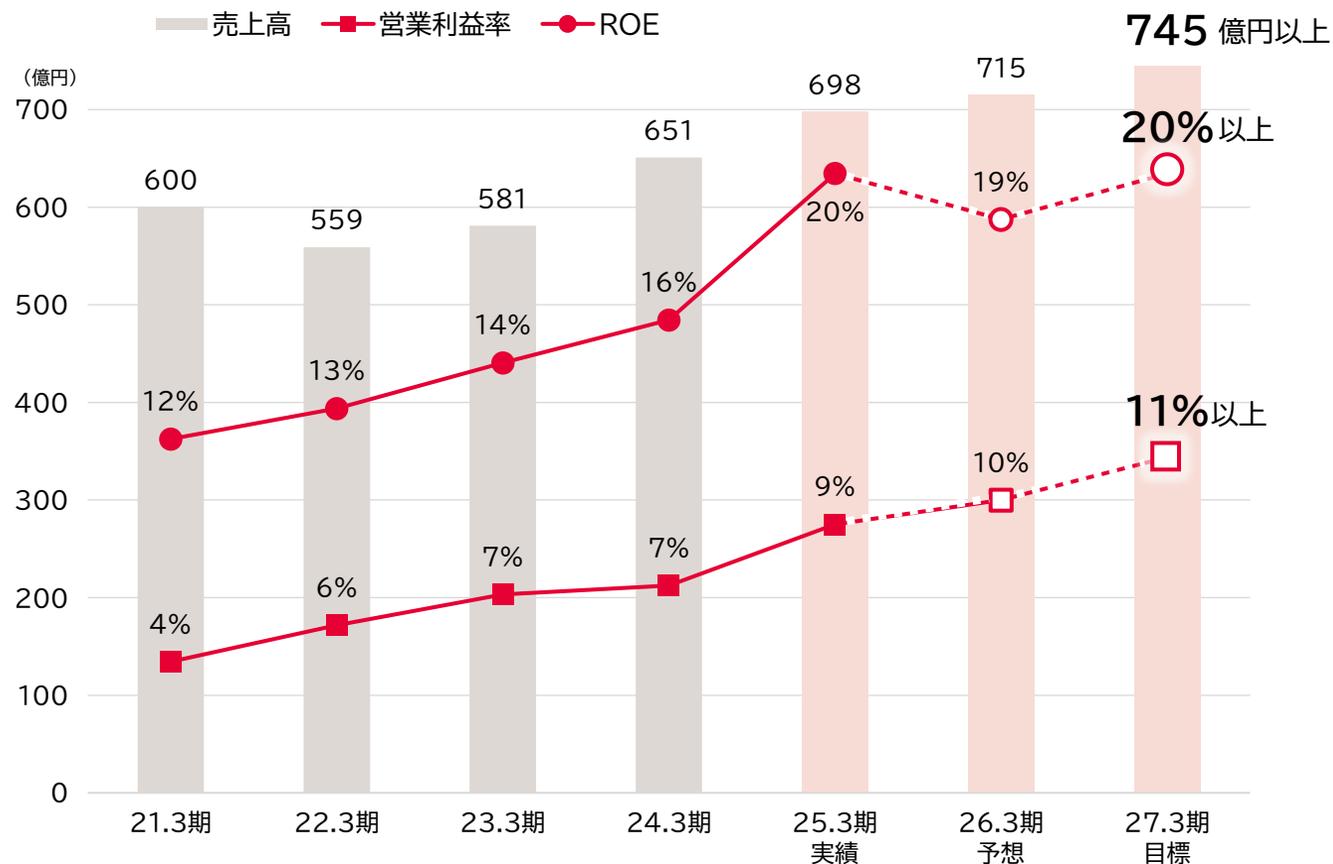
配当性向
45%以上

機動的な
自己株式取得

重点投資領域

- 人材戦略の推進
- 新たなビジネス領域
- 経営基盤の強化・高度化

CHALLENGE 2026



継続的な成長

- スtockビジネス比率 60%
 - クラウド 売上高CAGR 36%
 - セキュリティ 売上高CAGR 30%

CHALLENGE
2026

収益性の向上

- 売上総利益率 +3pts
 - 超高速開発 +10pts
 - クラウド、セキュリティ +3pts

キャッシュフロー

- 人材への投資
- 新たなビジネス領域への投資
- 配当性向 45%以上

JBCCホールディングス株式会社 経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。